

私たちは、2012年12月15日、東京に集まり、青少年地域ボランティアサークル指導者会議を開催した。青少年地域ボランティアサークルの普及について、協議を行い、「青少年地域ボランティアサークル全国ネットワーク」を設立した。そして、協議の内容をアピール文としてまとめた。

「青少年地域ボランティアサークル」活動を普及するために（前文）

青少年地域ボランティアサークル全国ネットワーク

2012年12月15日

青少年*は、「家庭」・「学校」・「塾」・「仮想空間の世界」のピラミッド（三角錐）の中
にいるだけでは、心豊かな未来社会を創る『人間力*』のある「社会人」にはなれません。

青少年の成長には、「地域社会」が必要です。

地域社会には、多様で心豊かな「人々」がいます。

地域社会には、多様な「社会環境」や「自然環境」があります。

そして、彼らやそれらは青少年に「冒険」と「体験（経験）」、「発見」と「感動」を提
供してくれます。

豊かな「感性」と豊かな「心」を育んでくれます。

すなわち、地域社会には青少年が自ら『人間力』を育むことができる豊かな土壌がある
のです。

しかし、

「地域社会」の未来の希望であるはずの、青少年、特に青年（高校生）の、『人間力』
を育むための居場所が「地域社会」には多くありません。

そういう中であって、

地域社会に拠点を持って活動する「青少年地域ボランティアサークル*」は、青少年が
自ら『人間力』を育むボランティア活動の場を提供しており、最適な青少年の居場所の
1つである、と私たちは確信しています。

よって、私たちはここに、
青少年が地域で自ら『人間力』を育む「青少年地域ボランティアサークル」を普及する
ために、以下の提案（アピール）をいたします。

※の説明

青少年

ここで言う青少年は、少年（小学生、中学生）、青年（高校生）の年代の子どもたち
のこと。

青少年地域ボランティアサークル

地域に活動拠点をもち、高校生（中学生や小学生の場合もある）が中心となって、
主体的に地域でボランティア活動を行い、大人や大学生等はサポートを行っている
サークル、またはグループや団体。

人間力

自ら意欲的に生きていこうとする「自助の力」と、助け合って生きていこうとする
「共助の力」。

青少年地域ボランティアサークル普及のためのアピール

青少年地域ボランティアサークル全国ネットワーク

2012年12月15日

1. 青少年のボランティア活動に対する社会全体の理解の促進

第1に、青少年のボランティア活動に対する社会全体、とりわけ学校・家庭・地域の理解の促進を提案します。そのためには、社会活動に参加するための権利を子どもが有するとともに、子どもも社会を変えるパートナーであるという子ども観（基本認識）の醸成が不可欠です。

2. 青少年が地域におけるボランティア活動に参加しやすい環境づくり

第2に、青少年が地域におけるボランティア活動に参加しやすい環境づくりを提案します。その基本的な条件として、学業・部活などで多忙な高校生の生活条件の改善、異年齢とのつながりを含む仲間づくりの支援、居場所や休める時間の確保、地域や多世代・他校の人たちと交流できる活動の提供などを進めることを強く求めます。

3. 青少年地域ボランティアサークルの運営方法の向上の促進

第3に、青少年ボランティアサークルの運営方法の向上を促すことを提案します。具体的には、後継者の確保を含む参加者募集の方法、学校と地域機関・団体（行政、社会福祉協議会を含む）との関係を中心とする学社連携の仕組、地域内外での指導者・団体のネットワーク、活動資金の確保（含確保のためのノウハウ）などを特に推進すべきです。

4. 青少年ボランティアに対する支援の工夫

第4に、青少年ボランティアに対する支援の工夫を提案します。とりわけ指導者の心構えが重要であり、青少年への信頼、主体性の尊重、褒めることと諭すこと、大人自身も楽しむことなどを身につける必要があります。そのほか、青少年の自主性の育て方、創造的な活動、エンパワメントの方法、感動体験の充実などが不可欠です。

5. 指導者の養成及び支援体制の構築

第5に、指導者の養成及び支援体制の構築を提案します。現在の地域における青少年地域ボランティアサークル（団体）の指導者は、教育委員会、社会福祉協議会、子ども会に所属の人たちが多いですが、個人で指導者として孤軍奮闘している人たちもいます。しかし、活動の責任を指導者個人が負うため、人数は少なく、若い世代の参入が必ずしも活発ではありません。これからの地域社会においては、有意な地域の人材の活用が不可欠です。そこで、地域人材による指導者養成及び責任を個人に負わせない公的な支援体制の構築を提案します。

青少年地域ボランティアサークル全国ネットワーク

参加団体

北海道	北見市	高校生ボランティア「ホーチブ会」 高校生ボランティア「だるま」	指導者	矢久保 ゆかり
山形県	遊佐町	高校生ボランティアサークル「くじら」 (中学生ボランティアサークル「Jボラン」)	指導者	佐藤 正子
山形県	舟形町	高校生ボランティアサークル「ふなっ子」	指導者	齋藤 彰
静岡県	静岡市	高校生ボランティアグループチーズケーキ	指導者	中村 泰助
鳥取県	八頭町	ジュニア・リーダーシュークル	指導者	前田 葉子
岡山県	倉敷市	ジュニア・リーダー (子ども会)	指導者	浅原 耕一
高知県	高知市	スマイルリング	指導者	諏訪 博信
福岡県	北九州市	高校生ボランティアサークルのぼら	代表者	宮崎 浩
熊本県	熊本市	北部高校生ボランティアサークル 「わいわいHVC」	代表者	吉永 京子
鹿児島県	肝付町	SATボラクラブ (サタボラクラブ)	指導者	宇都 千津美
特定非営利活動法人	さわやか青少年センター	理事長	有馬 正史	
		副理事長	松山 真理	
		理事 (日本女子大学教授)	田中 雅文	